

岡山大学 エクスペリメンタルイベント
サイエンス+アート 第一回

山水の田心考

平成二十五年 七月二十七日（土）午後四時開演

出演 沈 建仁 科学者

岡山大学理学部／大学院自然科学研究科教授

須賀みほ 美術史家

東京藝術大学美術学部／大学院美術研究科准教授

案内役 北岡武司 哲学者・詩人

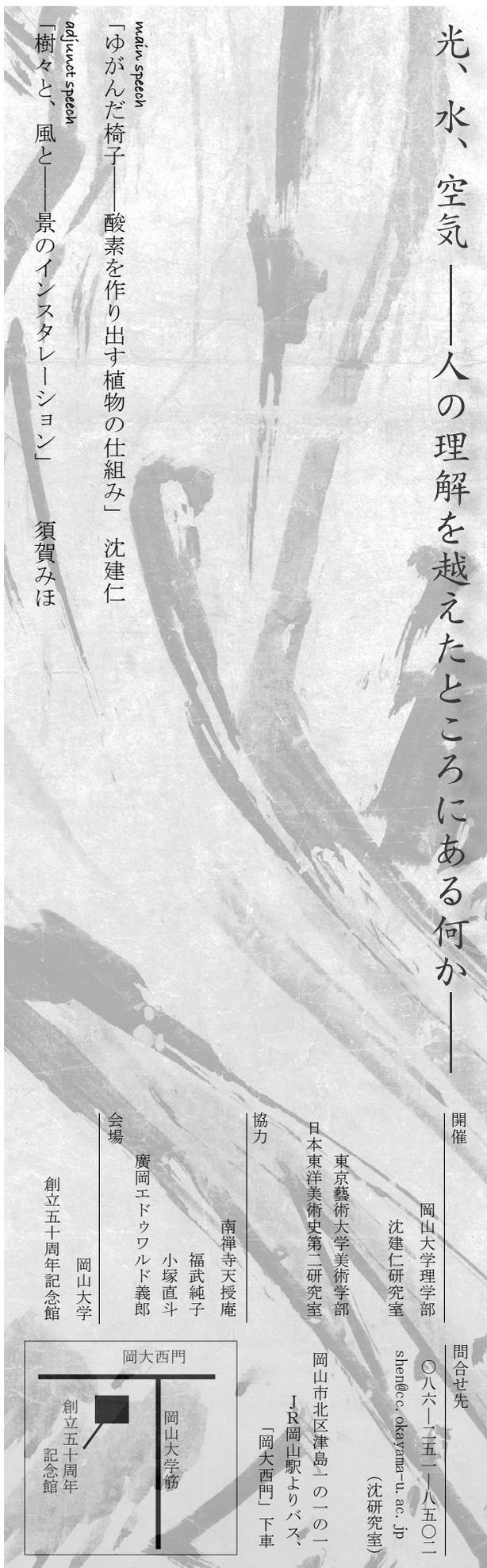
岡山大学文学部／大学院社会文化科学研究科教授

岡山大学創立五十周年記念館

定員四〇〇名 先着順

入場無料

光、水、空気——人の理解を越えたところにある何か——



main speaker
「ゆがんだ椅子——酸素を作り出す植物の仕組み」 沈建仁

adjunct speaker
「樹々と、風と——景のインスタレーション」 須賀みほ

開催

岡山大学理学部

沈建仁研究室

問合せ先

〇八六一二五二一八五〇二

shen@c.okayama-u.ac.jp

(沈研究室)

東京藝術大学美術学部

日本東洋美術史第二研究室

岡山市北区津島一のの一

JR岡山駅よりバス、

協力

「岡大西門」下車

南禅寺天授庵

福武純子

小塚直斗

廣岡エドワード義郎

会場

岡山大学

創立五十周年記念館

岡大西門

岡山大学筋

創立五十周年
記念館

光、水、空気——これらはわたしたちが生きるためになくってはならないもの、自然科学の分野では、神秘とも言えるそれらの構造と仕組みを捉える試みが日々におこなわれ、一方視覚芸術の分野では、それらを表現することが古今東西の造形の重要な要素となってきました。

科学と芸術の交歓をテーマに企画された岡山大学のエクスペリメンタルイベント「サイエンス+アート」、その記念すべき第一回は、この三つの要素を中心に「自然」と「東洋」をキーワードとし、「山水の思考」と題しておこないます。

メインスピーカーは光合成の研究で世界的に知られる沈建仁氏、沈教授らのグループは、光と水からほぼすべての生物の生存を支えるのに必要な酸素とエネルギーを作り出す酵素の仕組みを解明し、米国の科学雑誌『サイエンス』による二〇一一年の科学十大成果にも選出されました。

氏の最先端の研究の根幹にある概念、あるいは思想は、芸術との出会いの中でどのようにあらわれてくるのでしょうか。従来になかった実験的イベントに、多くの方のご来場をお待ちしています。

main speaker

沈建仁

Jian-Ren Shen



科学者。岡山大学教授。東京大学大学院博士課程修了、理学博士。理化学研究所研究員を経て、二〇〇三年より現職。専門は光合成、植物生理学。光合成研究の第一人者として知られる。二〇一二年度朝日賞受賞のほか、日本光合成学会特別賞「光と緑の賞」、第七十一回山陽新聞賞（学術）等受賞。

adjunct speaker

須賀みほ

Miho Suga



美術史家。東京藝術大学准教授。東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程学位取得修了。博士（美術）。岡山大学准教授を経て二〇一二年より現職。専門は日本美術史。著書に『天神縁起の系譜』（中央公論美術出版）編著に『花木の象——国宝都久夫須麻神社』（同）ほか。平成十一年度國華賞、第七回鹿島美術財団賞受賞。

presenter

北岡武司

Takeshi Kitaoka



哲学者、詩人。岡山大学教授。京都大学大学院文学研究科博士後期課程修了、ボン大学留学。島根大学助教授を経て、二〇〇四年より現職。専門は哲学。著書『カントと形而上学』（世界思想社）、翻訳書『たんなる理性の限界内の宗教』（岩波書店）、詩集『シルレットの裏側』（思潮社）『スビラシイオン』（和光出版）等多数。